



| | |
|--|--|
|  Data | 2023-1 |
| 監督: | レックス・レン (任侠) / ラム・サム (林森) |
| 出演: | ユー・ジーウィン (余子穎) /レイ・ブイー (李珮怡) /スンクワントー (孫君陶) /マヤ・ツァン (曾春彤) / トン・カーファイ (唐嘉輝) /アイビー・パン (彭珮嵐) /ホー・ワイワー (何焯華) /スン・ツェン (孫澄) / マック・ウィンサム (麥穎森) |

👁️👁️ みどころ

タイトルは、ドキュメンタリーの『理大囲城』（20年）と同じように、刺激的かつ挑発的だが、本作はフィクション。あるきっかけで自殺願望を持った17歳の女の子を主人公にした、『ロミオとジュリエット』ばり(?)のラブストーリーだが、ストーリーは超単純。

ソーシャルワーカーの女性を中心とする捜索隊は、なぜ結成?いかなる捜索活動を?そして、捜索隊内部の接点と確執は?さらに、その中での恋模様の展開は?

本作の結末は、『少年たちの時代革命』というタイトルをかみしめながら、あなたの目でしっかりと!

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

■□■フィクション?それともノンフィクション?■□■

2022年の年末には「NHK スペシャル未解決事件・松本清張と帝銀事件」として、①第1部ドラマ 事件と清張の闘い 12月29日(木) [総合] 後9:00~10:30 ②第2部 74年目の“真相”(ドキュメンタリー) 12月30日(金) [総合] 後9:00~10:00が、放映された。そこでは、松本清張自身が立てた「犯人・死刑囚とされた平沢貞通は無罪である」との大胆な仮説を交えて、帝銀事件の真相に迫っていた。またそこでは、その物語をノンフィクションで書くか、それともフィクションで書くかについて、文芸春秋の編集担当者と松本清張が激論する姿が描かれていた。

同じ日に観た映画『理大囲城』（20年）は2019年11月に起きた「理大囲城」を描いたもので、これはドキュメンタリーだった。それに対して、原題を『少年』、邦題を『少年たちの時代革命』とした本作は、フィクションの群像劇だ。どちらが正しいかは松本清張と同じように迷うところだが、私はやっぱりフィクションの方が好き!

■□■ストーリーは超単純！登場人物は？■□■

本作はフィクションだが、ストーリーは超単純。すなわち、あるきっかけで自殺願望(?)をもった18歳の女の子 YY を捜し出そうと、友人たちが奮闘する(だけの)物語だ。そこで、公式ホームページに基づいて本作の登場人物を整理しておく、次のとおりだ。

まず第1グループは次の2人の女の子だ。

①YY (ユー・ジーウィン)・・・18歳の少女、穏健派。父親は中国で働き、母親は再婚相手とイギリスで暮らしている。18歳の誕生日に SNS にメッセージを残して、命を絶とうとする。

②ジュー (レイ・プイイー)・・・18歳の少女、穏健派。YY の親友。逮捕されたことを機に、香港を去る決断をする。

次に、第2グループは、街頭デモに参加している次の若者たちだ。

①ナム (スン・クワントー)・・・20歳の男。勇武派。大学受験に失敗し、建築作業員をしている。YY とジューと同じデモ現場で、逮捕された。

②ベル (マヤ・ツァン)・・・21歳、後方支援の女の子。香港中文大学学生で、ナムの恋人。家族はイギリスに移住する予定。

③ルイス (トン・カーファイ)・・・18歳の男、勇武派。親中派の父親からは、デモに参加することを反対されている。ナムを兄貴分として慕っている。

④バーニズム (ホー・ワイワー)・・・15歳の男。偵察。警察官の父親に反感を持っている。両親には友達の家でゲームをすると偽って、デモに参加している。

そして、第3は、第1グループとも第2グループとも本来全く関係のない、ソーシャルワーカーの女性バウ、38歳だ。

■□■登場人物たちの立場とその接点は？本当はバラバラ？■□■

以上のように、第1グループと第2グループの間には、もともと何の接点もないものだ。公式ホームページでは、YY とジューは“穏健派”と書かれているが、そもそもこの2人はどの程度の意識で民主化デモに参加したのかもはっきりしないから、本来“ノンポリ派”と言ってもいいレベル。それに対して、大学受験に失敗し建築作業員をしている20歳のナムや親中派の父親からデモに参加することを反対されながら、ナムを兄貴分として慕っている18歳のルイスは“勇武派”と書かれているとおり、民主化デモへの参加が自分の当然の義務であり、警官と対決することもいとわないプロの活動家に近いもの。したがって、両者の意識の差はかなり大きく、本来何の接点もないものだ。

本作を見ている、混乱するデモの現場で YY がナムを助けたのは全くの偶然だし、そんな行動によってナムだけでなく、YY まで逮捕されてしまったのも全くの偶然。したがって、逮捕とその後の拘留という現実、ナムにとっては覚悟の結果だが、YY にとっては全く想定外の結果だから、そのショックの大きさはいかりばかり・・・。YY と一緒にいたジューが逮捕を免れたのは幸いだったが、YY が逮捕されたことをきっかけにジューが香港

を去る決心をしたのは、ある意味で賢明。また、それができる立場（裕福な家庭）にあることもわかる。

他方、母親は再婚相手とイギリスで暮らしているため、中国で働く父親と二人暮らしをしている YY は、何とか釈放されたものの、その後は起訴されて裁判となり、有罪となる可能性が高いから大変だ。やっと 18 歳の誕生日を迎える彼女はそんな状況に絶望し、命を絶とうとしたが、今時の若者はそんな心情も SNS に綴るらしい。したがって、YY が残した、自殺を示唆するメッセージを見たジーユーたちは・・・？

■□■活動家たちの闘争と、その中に見る恋模様は？■□■

私が学生運動にのめり込んでいた 18、19 歳の頃も、政治活動の傍ら、活動家たちの男女交際は私を含めて活発だった。それは、活動に従事する中で、男同士、女同士の会話、議論が弾むのは当然だし、それが人生論、文学論、恋愛論にまで広がっていくと、必然的にあちこちで恋模様が生まれるためだ。

そんな恋模様は、建築作業員をしている 20 歳のナムと、香港中文大学の学生で家族がイギリスに移住する予定の 21 歳のベルとの間でもしっかり成立していたらしい。もっとも、ナムとベルの 2 人を見ていると、双方の立場の違いが大きすぎるのが気になっていた。しかして、自分を助けてくれた YY が逮捕されたうえ、釈放後、SNS へのメッセージを残して行方不明になっていることを知ったナムが、活動そっちのけで、YY の捜索に奔走する姿を目の当たりにしたベルは・・・？

香港民主化デモの中でたまたま目の前にいたナムを助けようとした YY まで逮捕されてしまったため、その捜索隊が結成され、そこにナムが、加わったところから、本作のラブストーリーが形成されていくので、それに注目！キャピュレット家の仮面舞踏会で出会ったことで互いに一目惚れしたロミオとジュリエットには大きな悲劇が訪れたが、さて、そんな状態で出会った YY とナムの恋模様は・・・？そして、ナムとベルの恋模様は・・・？

■□■ソーシャルワーカーとは？ウィキペディアによると？■□■

本作で第 1 グループの YY やジーユーと、第 2 グループのナムやベルたちを結びつけ、YY の捜索隊を結成し、それを指揮する立場に立つのが、38 歳のソーシャルワーカーの女性パウダ。しかして、ソーシャルワーカーとは一体ナニ？

それは、ウィキペディアによると、次のように解説されている。すなわち、

ソーシャルワーカー（英語：Social Worker）とは、社会の中で生活する上で実際に困っている人々や生活に不安を抱えている人々、社会的に疎外されている人々と関係を構築して様々な課題にとともに取り組む援助を提供するソーシャルワークを専門性に持つ対人援助専門職の総称である。そのため、相談者本人だけではなく様々な課題の背景や周囲にある、家族、友人、その他の関連機関や環境にも働きかける。

そして、イギリスでは、

イギリスにおいてソーシャルワークを実施するためには、教育機関で職業資格（学士レベル）を取得後、保健ケア資格委員会（HCPC）に登録された者である必要がある。

アメリカでは、

アメリカでは弁護士と同等の職業として市民権を得ている。衆ごとの免許制度となっていて、取得には主に修士以上のソーシャルワーク学位が必要となる他、様々な要件が規定されている。

日本では、

日本では、社会福祉事業において主に相談支援や関係機関との調整を担うための国家資格として、「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づく社会福祉士（Certified Social Worker）と、「精神保健福祉士法」に基づく精神保健福祉士（Mental Health Social Worker）が存在する。

と解説されている。しかし、香港では？

■香港のソーシャルワーカーはこんな役割も！■

そんな公式の解説を読むまでもなく、本作を観ていると、香港のソーシャルワーカーであるバウが、SNSに自殺をほのめかすメッセージを残して行方不明になったYYを捜し出すために、どれだけエネルギーを割いているのかがよくわかる。本作ではその一生懸命さが重要なテーマだし、その中で見えてくる第1グループと第2グループとの確執や仲間割れ、さらに恋愛模様に見る痴話ゲンカ（？）等がストーリーの核になるので、ドキュメンタリータッチの迫力で切り取られるそれらの映像をしっかりと注視したい。

私は1997年に一度香港を旅行したことがあるが、ホントに香港は小さなまち。しかし、いくら小さいとはいえ、何の情報もないYYを、数名の捜索隊が手当たり次第にまちの中を歩き回り、ビルの中を捜し回っても見つかるはずはない。本作中盤に見るそんな捜索風景には少し疑問があるが、バウをはじめとする捜索隊の、「何が何でもYYを見つけ出すぞ！」という意欲には敬服！もっとも、そこでは、見つからないほどなおさら必死に捜すナムと、いい加減捜索を諦めてデモの本隊に戻ろうと主張するベルのような対立も必然的に生まれてくるので、その捜索意欲の濃淡にも注目したい。

■YYはどこで何を？少年たちの時代革命は？■

『理大圍城』はドキュメンタリー映画だが、本作はフィクションだから、どんなストーリーにしようが、それは自由。『ロミオとジュリエット』はほんのちょっとした手違い（？）から大きな悲劇を生んでしまったが、捜索の途中でナムとベルもケンカ別れしてしまうから、これはYYの失踪事件から生まれた、とんだトバッチリという他ない。

しかし、それはあくまでサブストーリー。メインストーリーとなるべきYYの行動について、本作は断片的にその姿を映し出すが、彼女の心情は全然語られない。したがって、この年頃の女の子の“揺れる想い”は、私のような70代の男にはわかりようがない。し

かして、本作のラスト近くで YY は高いビルの屋上に1人で立っていたから、これはヤバ
い。そんな YY の所在をバウが指揮する数人の捜索隊が発見できたのは奇跡であり、フィ
クションに違いないが、本作はそこでの YY の飛び降り自殺という悲劇で終わるの？それ
とも・・・？その結末は、『少年たちの時代革命』というタイトルをかみしめながら、あな
たの目でしっかりと。

2023（令和5）年1月18日記